

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ET45G002	教育社会心理学特論(Special Seminar of Social Psychology of Education)					教育心理学									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員									
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 古城 和敬 E-mail kkojo@oita-u.ac.jp 内線 7610									
授業の概要	教師と児童・生徒の人間関係, 相互作用, 及び学級風土を中心として, 学級集団過程を構造的・体系的に考察し, 学級経営や児童・生徒の学級適応に有効な指導法を検討する。														
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	教育社会心理学の意義と研究方法を理解する。														
目標2	教育社会心理学の視座から学級集団の諸過程を理解する。														
目標3	教育実践論文と自らの教育実践を結びつけ, 学級経営に有効な指導理論と指導法を深く追究する。														
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
授業の内容															
1	教育社会心理学概説(1)														
2	教育社会心理学概説(2)														
3	教育社会心理学の研究法(1): 調査法														
4	教育社会心理学の研究法(2): 実験法														
5	教室における学習指導														
6	学級の集団過程(1): 学級集団の発達														
7	学級の集団過程(2): 学級モラルと凝集性														
8	学級の集団過程(3): 学級規範														
9	学級の集団過程(4): 教師と児童生徒の相互作用														
10	児童・生徒の問題行動														
11	組織としての学校														
12	教育実践論文の講読(1)														
13	教育実践論文の講読(2)														
14	教育実践論文の講読(3)														
15	教育実践論文の講読(4)														
ラ イ ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	教育社会心理学に関する能動的な調べ学習やグループ・ディスカッションを通じて、学生の動機づけを高め、深い学びに導く。				工 夫 そ の 他 の									
時間外学修の内容と時間の目安	準備 学修	課題についての予習(15h)、論文精読とレジュメ作成(15h)													
	事後 学修	論文発表後の課題レポート(3h)													
教科書	「教師が変われば子どもも変わる」 浜名外喜男編著 北大路書房														
参考書															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
	課題レポート	30%													
	発表の完成度	20%													
	最終レポート	50%													
注意事項															
備考															
リンク	URL														